

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト 実施報告書

報告日	平成 28 年 3 月 18 日
主管学校名	国立大学法人福岡教育大学附属福岡小学校
P T A 会長名	磯田 則彦

実施概要	主管校	国立大学法人福岡教育大学附属福岡小学校
	交流校	国立大学法人福岡教育大学附属福岡中学校
	実施活動名	あらつフェスタ
	実施日時	11 月 14 日
	実施場所	福岡教育大学附属福岡小学校
	実施目的	イベントの実施を通して、特別支援学級在籍児童と通常学級の児童、生徒とが、お互いの理解を深めると共に一緒によりよい学校生活をつくりあげていこうとする意欲を養う。
	実施内容	ゲームコーナーなどの催し物を企画・運営して全校児童や保護者、隣接中学校生徒等と交流する。
	実施方法	生活単元学習の時間を中心に企画や準備・練習等を行い、活動する。
参加人数	本校特別支援学級の児童とその保護者、本校職員およびあらつフェスタに参加する一般の方々	

報告事項	内容	松ぼっくりやどんぐり、落ち葉など、地域の公園で見られる秋の自然物を用いて、「秋の実を釣ろう」「ペタペタ松ぼっくり」の2つのゲームコーナーを企画・運営し、全校児童や保護者、附属中学校の生徒、一般の方々などと交流を行った。
	結果	昨年度を超える参加者が特別支援学級主催のゲームコーナーに参加された。ゲームコーナーで接客をする特別支援学級児童の様子を見た通常学級の児童の中には、「計算が上手にできること」や「ゲームの説明が上手にできること」など、自分が想像していた以上にスムーズにできることに驚き、互いの理解を深めている様子も見られた。
	所感	特別支援学級に在籍する 14 名の子供たちは、あらつフェスタでの企画・運営を通して味わった楽しさや、やり遂げた満足感から、自信をもつとともに、その他の様々な行事に対しても意欲を高めているようであった。また、日頃交流の少ない通常学級児童との間に、何気ない会話が生まれるようになるなど、互いが顔見知りになるきっかけ作りにもなる大変意義深いものになったと感じている。

添付書類



カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成28年3月17日
学校名	福岡教育大学附属福岡小学校
学年	6年生

○あらかつフェスタがありました。ぼくは ペタペタまつぼっくりのコーナーで おきやくさんにせつめいをしました。おきやくさんが 「ありがとう」と ってくれたので うれしかったです。おかあさんも 「じょうずにできたね」と ほめてくれたので うれしかったです。

○ぼくは あらかつふえすたで まつぼっくりをつろうのコーナーで てんすうを けいさんしました。おきやくさんに てんすうをおしえて 「おめでとうございました」と いいました。じぶんで けいさんできたので うれしかったです。また みんなといっしょに ゲームコーナーを やりたいです。

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成 28 年 3 月 17 日
学校名	福岡教育大学附属福岡小学校

○子供たちが自分たちで進んで活動している姿を見ることができてうれしく感じました。1 年前の姿と比べると随分成長したように感じました。日頃かかわりのないお客さんと接していても、しっかりと説明することができたことは、本人も自信になったことと思います。通常学級の友達から名前を覚えてもらって呼びかけてもらっている様子も見られてよかったです。

○最上級生として参加する我が子を見て、成長したなと感じました。低学年の友達に声をかけたり、変わりにやってあげたりしている様子を見ることができてうれしかったです。昨年度までは手伝いをしなければできないことが多かったのですが、今年度は、進んで活動したり通常学級の友達と話をしたりしている姿を見られたのでよかったです。